

第1章 概要及び課題

1-1 但馬地方拠点都市地域の概要

(1) 地方拠点都市地域の名称

『但馬（たじま）地方拠点都市地域』

(2) 地方拠点都市地域の構成

但馬地域は、「平成の大合併」を経て現在、3市2町で構成（表1-1、図1-1）されていますが、歴史的にはほぼ全域が但馬国でした。また、通勤、通学、商圏等の生活行動圏からみて、高次都市機能が集積している豊岡市（旧豊岡市）を主核に、養父市八鹿町や朝来市和田山町を副核として、歴史的、社会的に一体性のある地域となっています。行政的にも兵庫県但馬県民局が但馬地域全域を管轄しており、広域市町村圏も但馬地域全域で構成されています。さらに、平成6年度に開催された“但馬・理想の都の祭典”が象徴しているように、但馬地域の3市2町の人々の連帯意識は高まりつつあります。

こうした背景や動向を受けて、自然、歴史、社会、並びに住民の郷土意識にも一体性のある但馬地域の3市2町全域が地方拠点都市地域として指定されています。

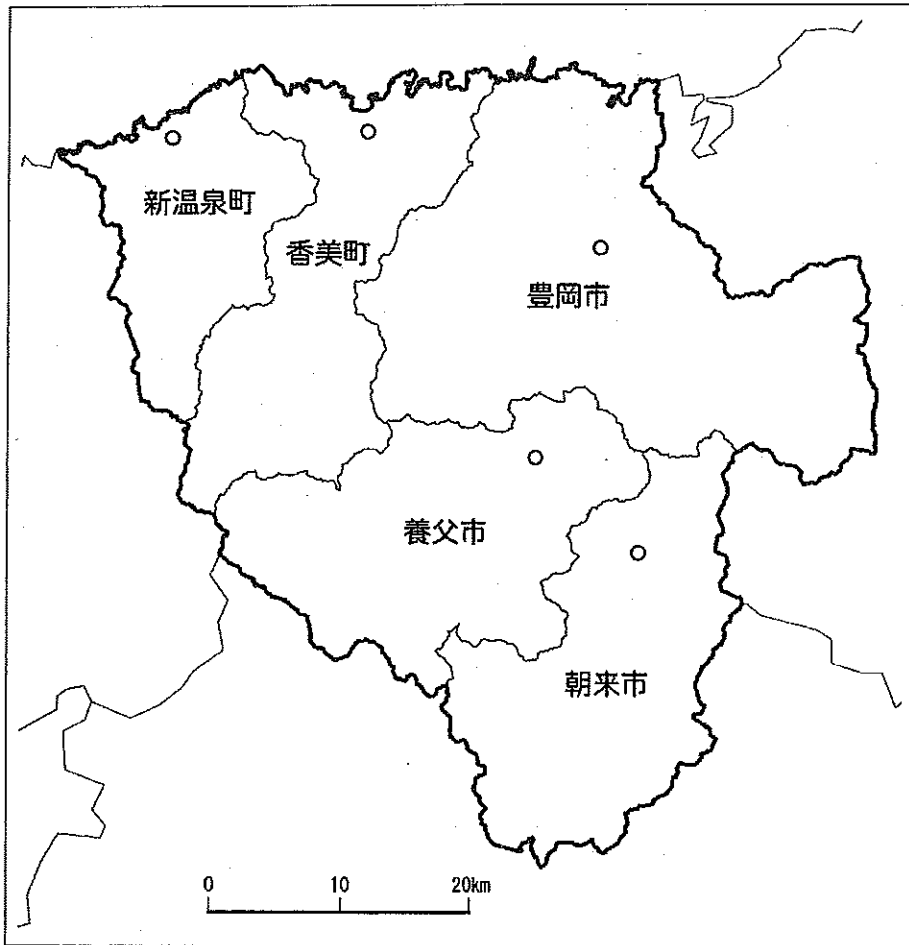
さらに、金融、文化、公共サービスなどの広域都市機能は、豊岡市を中心に集積し、広域的な交通機関である鉄道・空港・道路などによる結節点が形成されつつあることから、本地方拠点都市地域（以下、「但馬地域」）における中心都市は豊岡市としています。

表1-1 構成市町の人口等

市町名	平成7年	平成12年	平成17年	増減率 (H17/H12)	面積
豊岡市	93,859人	92,752人	89,208人	96.2%	697.66 km ²
養父市	31,290人	30,110人	28,306人	94.0%	422.78 km ²
朝来市	36,766人	36,069人	34,791人	96.5%	402.98 km ²
香美町	24,298人	23,271人	21,439人	92.1%	369.08 km ²
新温泉町	19,629人	18,601人	17,467人	93.9%	241.00 km ²
但馬地域	205,842人	200,803人	191,211人	95.2%	2,133.50 km ²

(各年国勢調査)

図1-1 但馬地方拠点都市地域の構成市町



(3) 位置

本地方拠点都市地域は、兵庫県庁のある神戸市への直線距離が約100kmである兵庫県北部に位置し、北は日本海、南は兵庫県播磨地域及び丹波地域、東は京都府、西は鳥取県に隣接しています。(図1-2、3)

また、但馬地域は、「播磨地方拠点都市地域(兵庫県南西部)」「鳥取県東部地方拠点都市地域(鳥取県東部)」「北近畿地方拠点都市地域(京都府北部)」の3地方拠点都市地域とも隣接しています。

(図1-3)

(4) 計画期間

おおむね10年後、おおよそ2017年(平成29年)までを計画期間とします。

図1-2 但馬地方拠点都市地域の広域的位置図

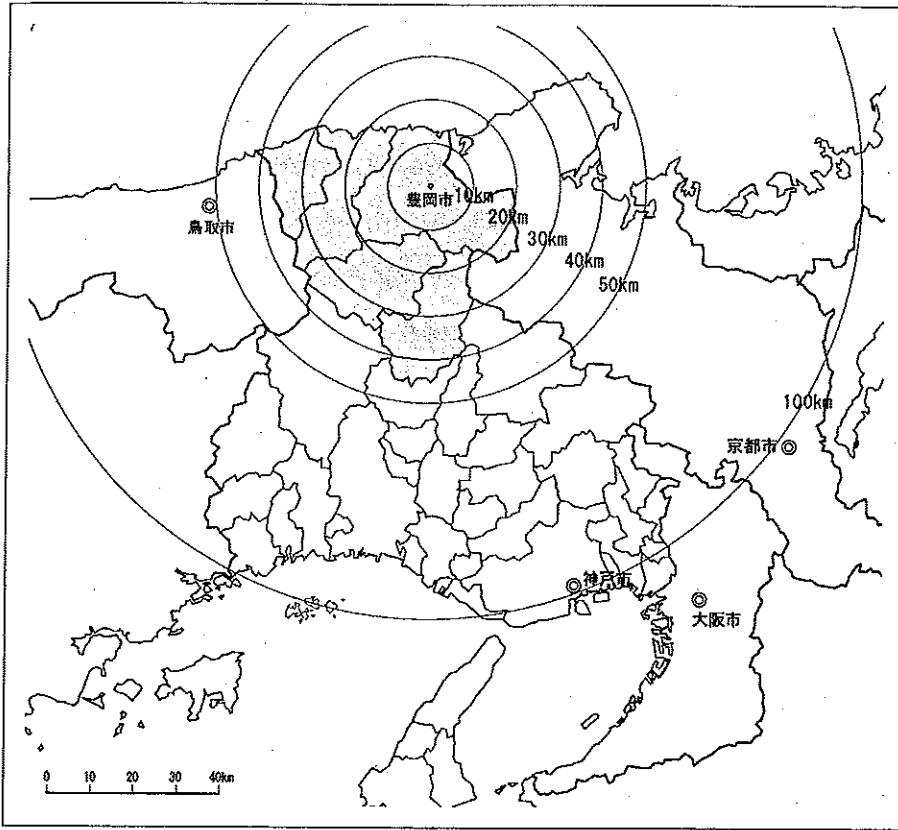


図1-3 但馬地方拠点都市地域の位置及び隣接地方拠点都市地域

